



アセットブレインズ仙台ネットワーク
事務局長
佐々木 正之 氏

ささき まさゆき 1953年、仙台市生まれ。東北学院大学法学部卒業。1989年オールライスマーカーナカリ㈱グループの不動産会社㈱ナカリエステート入社、現常務取締役。1998年アセットブレインズ仙台ネットワーク設立。

旺盛な投資意欲で、活発な事業用不動産取引が継続

地域特化の最新不動産事情「市場動向セミナー」と地方都市における地方創生に資する「不動産ファンドフォーラム」を柱に、タイムリーなテーマを発信続けるアセットブレインズ仙台ネットワークの事務局長佐々木正之氏。力を入れている事業、今年の不動産市況について伺った。

——歴史と事業内容は。

佐々木 非営利の任意団体として1998年の設立以来、今年で26年目を迎えます。定例会も195回目となり、会員数は首都圏のメンバーを含め180名を超す人数となりました。会員は不動産・建設・金融・保険・法務・マーケティングなど各分野のプロフェッショナルで構成されており、趣旨に賛同する個人

資格で組織されており、個人や企業の保有する資産の活用をサポートする総合コンサルティング&コネクトネットワーク機構で、資産（アセット）の有効活用に関して最新の知識と手法を研究し、また、会員相互の情報交換を行うことで自主的にビジネスチャンス

を創造していくことを目的に設立されました。定例会は、不動産市場動向セミナーと不動産市場動向セミナーと



牛たん焼きを
仙台名物にしたお店



ナーと不動産ファンドフォーラムを柱に、タイムリーなテーマを選択し、外部専門家あるいは会員を講師に講義・研究を行っています。東日本大震災後には、「官民協働の復興推進プロジェクト」を立ち上げ、「官民協働による復興住宅のスキーム案及びプラン案」を作成し、仙台市泉中央南復興公営住宅 RC造10階建193戸の官民共同復興住宅を実現しました。——不動産市場動向セミナーとは。

佐々木 「仙台・東北圏の最新不動産事情」をテーマとして年1回春先に、「居住用不動産」および「投資用・事業用不動産」の最新動向について解説しています。中でも3億円以上の取引情報の集約は全国的にも稀な集計で、貴重なデータになっています。

——ファンドフォーラムとは。

佐々木 「地方都市における不動産証券化ビジネス」の推進と啓蒙活動の一環として年1回秋口に開催しています。

最近では地方圏でも不動産投資ファンドを組成する動きが見られます。

す。福岡リート、マリモ地方創生リート、東海リート、ひろしま地方創生リート、北海道リートの五つが地方リートとして創生されています。講師の（一社）不動産証券化協会フェロー田邊先生が「地方リートは直接的短期的なリターンだけでなく、地方創生の寄与を重視して組成」と仰る通り、このフォーラムは地方都市における地方創生に資するものと考え取り組んでいます。

——今年の不動産市況は。

佐々木 2023年の仙台圏の事業用不動産取引は金額935億円84件となり、前年より大幅に減りましたが、コロナ前の水準に戻りつつあります。不動産投資市場は、金融環境の変化と建設コストにリスク要因はあるものの、景況感良好的な状態が継続しています。投資家の投資姿勢も積極的であり、首都圏の物件不足の影響で地方都市への投資が注目されています。仙台圏では、地元の投資家の旺盛な投資意欲は衰えておらず、柔軟な融資姿勢が取引増加につながり、今後も活発な取引は継続するものと想定されます。